

【使用方法概要】

1. あらかじめsd32,sdtttyなどのコールシーケンス作成ソフト※1で
コールを作成し(通常C:%sd%sequence.[レベル]というファイル名で出力されます)、
テキストファイルに出力しておきます。
2. メニューの[ファイル]-[シーケンステキストを読み込]をクリックし、出力したテキストファイルを選択して
[開く]とすることで、コールシーケンスを読み込みます。
3. 読み込んだシーケンスは↑ ↓キーなどによって表示を切り替えながら
コールすることができます。

※1 対応しているコールシーケンス作成ソフトはsd32,sdttty,SD coupleなどです。
WinHashやCSDSなどのソフトには対応していません。

【SDReader設定ファイルの指定】

アプリケーション起動時の引数にSDReader設定ファイル(通常はSDReader.ini)を指定することができます。引数に-ini [SDReader設定ファイル]を入力することで、SDReaderは指定された設定ファイルを読み込みます。この機能を使用することにより、状況に応じた設定の使い分けをすることができます。

例えば、SDReaderがインストールされているフォルダが(C:Files)で、パター(SDReader.ini)とシンギング(Singing.ini)の2パターンの設定を使い分けたい場合、SDReaderがインストールされているフォルダにある、SDReader.iniをコピーしてSinging.iniと名前を変えます。現在デスクトップにあるSDReaderのショートカットをコピーして、その[リンク先]の項目にC:Files.exe -ini Singing.ini と入力します。そのショートカットからSDReader.exeを起動するとSinging.iniから設定を読み込みます。

abc def.iniと設定ファイルにスペースが含まれている場合は"abc def.ini"と半角のダブルクォーテーションで囲むことで正常に読み込むことができます。

注: 通常の使用ではこの機能は必要ありません。

【マークの変更】

コール後に、良かったシーケンスや悪かったシーケンス、
またはできなかったシーケンスなどを[1]～[9]キー・[Shift]キーを押しながら[1]～[5]キー、
またはシーケンスリストの右クリックメニューでマークすることができます。



- 1: コール未
- 2: チェック済
- 3: コール済
- 4: コールOK
- 5: スマイル
- 6: 鉛筆
- 7: 不明
- 8: 注意
- 9: コールNG
- [Shift]+1: シンギング
- [Shift]+2: ローテート
- [Shift]+3: オープニング
- [Shift]+4: フィニッシュ
- [Shift]+5: 非対称

マークはシーケンスリストを範囲選択した状態で行うと、選択されたものすべてに同様の動作を一括ですることができます。

範囲選択の方法は、[Shift]キーを押しながら↑↓キーで選択する方法

[Ctrl]キーを押しながら、↑↓キーで行を移動して[Space]キーで選択する方法

[Ctrl]キーを押しながら、マウスのクリックする方法

あと、マウスの左ボタンのドラッグにより範囲選択する方法があります。

【部分書式設定】

[設定(S)]-[オプション(O)]の“書式設定”の項目を“部分書式あり”に設定しておく、以下の方法で、コールリストの任意の文字を書式設定できます。

書式	識別文字(標準型)	識別文字(省略型)
太字	bold	b
斜体	italic	i
下線	underline	u
取消線	strikeline	s
文字色(黒)	black	bk
文字色(白)	white	wh
文字色(赤)	red	rd
文字色(青)	blue	bl
文字色(緑)	green	gr
文字色(黄)	yellow	yl
文字色(紫)	magenta	mg
文字色(水色)	cyan	cy

以上が設定できる書式です。

書式指定の方法は
[[識別文字][表示する文字]]
↑ ↑ ↑
書式開始 スペース 書式終了

(例1): 標準型書式設定

書式文字列 {blue HEADS}square thru 4

表示結果 **HEADS**square thru 4

(例2): 省略型書式設定

書式文字列 {bl HEADS}square thru 4

表示結果 **HEADS**square thru 4

また、書式は最高10段階まで重ねて指定できます。

(例3): 階層書式指定

書式文字列 {b HEADS {i square thru {bl 4}}}

表示結果 **HEADS** *square thru 4*

注1: 部分書式を指定した場合には自動で行替えがされなくなるため、長いコールは画面をはみ出してしまいます。よって、コール編集で適当な位置で[Ctrl]+[Enter]をして行替えを入れてください。

注2: プリンターで印刷される場合、書式文字列が解釈されずに、そのまま印刷されてしまいます。ご了承ください。